

共催：日本応用糖質科学会近畿支部、日本糖質学会、FCCA

協賛：水谷糖質科学振興財団

第17回関西グライコサイエンスフォーラム

日時：平成28年5月14日（土）13:00～

会場：大阪市立大学 学術情報総合センター10階 大会議室

（大阪市住吉区杉本3-3-138、TEL 06-6605-3213 JR阪和線杉本町駅下車、徒歩5分）

プログラム

一般講演 座長：芦田 久(近畿大・生物理工)、岡 昌吾(京大・院医)、梶原康宏(阪大・院理)、
深瀬浩一(阪大・院理)、三善英知(阪大・院医)

- 13:05～13:25 出芽酵母の α マンノシダーゼAms1の細胞内活性制御
○梅川碧里¹、氏原将人¹、榎島一樹¹、竹松 弘²、若山 守¹ (立命館大学・生命¹、京大・院医²)
 - 13:25～13:45 植物キチナーゼに存在するLysMドメインの構造と糖結合特性
○北奥喜仁¹、沼田倫征²、平良東紀³、深溝 慶¹、大沼貴之¹
(近畿大・院農¹、AIST・バイオメディカル²、琉球大・熱帯生物資源³)
 - 13:45～14:05 肝線維化進展過程におけるMac-2 binding proteinの意義
○戎谷友佑、鎌田佳宏、山本晃子、藤井宏修、高松真二、三善英知(阪大・院医)
 - 14:05～14:25 Notch受容体の異なるO型糖鎖は冗長的に機能する
松本顕治郎、○松野健治(阪大・院理)
- 休憩 14:25～14:35
- 14:35～14:55 酵素合成イソマルトメガロ糖のヘスペレチンの可溶化とバイオアベイラビリティの向上
○鈴木志保¹、今井裕介¹、木村淳夫²、飯塚貴久³、藤本佳則³、原 博²、北村進一¹
(阪府大・院生命環境¹、北大・院農²、日本食品化工³)
 - 14:55～15:15 Synthetic study of self-adjuvanting antitumor vaccine candidate consisting of N-modified TriSTn tumor antigen conjugated with T-helper-cell-epitope
○CHANG Tsung-Che, MANABE Yoshiyuki, FUJIMOTO Yukari, FUKASE Koichi
(Department of Chem., Osaka Univ.)
 - 15:15～15:35 ペプチド-N-ピバロイルグアニジド体を鍵化合物としたGalNAcを有する不凍糖タンパク質の効率合成
○折井 亮¹、和泉雅之¹、深見大地²、津田 栄^{2,3}、梶原康宏¹、岡本 亮¹
(阪大・院理¹、北大・院生命科学²、産総研・生命工学³)

休憩 15:35～15:55

招待講演 座長：岡 昌吾(京大・院医)、島本啓子(サントリー生科財団)、村上 洋(大阪市工研)

- 15:55～16:35 新規糖鎖ユニット“リビトールリン酸”と筋ジストロフィー
金川 基(神戸大・院医)
 - 16:35～17:15 代謝安定型ガングリオシドの合成と生物活性
袖岡幹子(理研)
- 休憩 17:15～17:25
- 17:25～18:05 糖脂質型バイオサーファクタント“ソホロリピッド®”の工業的生産と洗浄剤への応用
平田善彦(サラヤ株式会社・バイオケミカル研究所)

講演会参加費：無料（要旨集代1,000円）

懇親会：講演終了後、懇親会費3,500円

学生：懇親会費1,000円（要旨集購入の学生は無料）

懇親会場：大阪市立大学 学術情報総合センター1階
野のはなハウス

世話人会：芦田 久、伊藤和央、岡 昌吾、梶原康宏、
栗木 隆、島本啓子、深瀬浩一、三善英知

問合せ先：伊藤和央(大阪市立大学大学院理学研究科)

TEL:06-6605-2579、FAX:06-6605-2522

梶原康宏(大阪大学大学院理学研究科)

TEL:06-6850-5380、FAX:06-6850-5382

